

総合的な探究の時間の指導法

[講義] 第3学年 後期 選択 教職必修 1単位

《担当者名》岡積 義雄（非）

【概要】

総合的な学習（探究）の時間の教育課程における位置づけや性格を明確にするために「意義、目標、内容」、「指導計画作成についての考え方・基礎的能力」、「指導と評価のあり方」を中心に授業を進める。

【学修目標】

総合的な学習（探究）の時間において、探究的・横断的・総合的な学習を通して、広範な事象を多様な観点でとらえ、実社会・実生活の課題を探究する学びを実現するために必要な指導計画の作成、指導方法、学習評価等の知識・技能を身に付ける。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	総合的な学習（探究）の時間の成立と変遷	総合的な学習（探究）の時間の成立、総合的な学習（探究）の時間の背景と実践の現状把握について	岡積
2	高等学校総則との関係、ねらいと意義	総合的な学習（探究）の時間のねらいと意義・内容の留意点、教育課程の位置づけについて	岡積
3	指導計画、評価、指導力の向上	総合的な学習（探究）の時間の指導計画・実践のプロセス、指導と評価方法、指導力向上について	岡積
4	総合的な学習（探究）の時間の実践事例、外部講師の活用	総合的な学習（探究）の時間の外部講師との連携（実践事例）、テーマ設定（実践事例）について	岡積
5	指導計画作成、各教科・他領域との連携	総合的な学習（探究）の時間の各教科・他領域との関連と指導計画の作成および実践について	岡積
6	探究テーマ・指導計画発表・協議（地域連携と国際協力等）	総合的な学習（探究）の時間の目標とテーマの設定について（地域連携や国際協力の計画と協議）	岡積
7	社会に開かれた教育課程、単元構成と具体化	総合的な学習（探究）の時間の単元構成のあり方、具体化について（グループ協議）	岡積
8	総合的な学習（探究）の時間の評価および指導技術	総合的な学習（探究）の時間の評価の実際（実践事例）、指導技術（実践事例）について	岡積

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

指導計画作成・発表の内容50%、毎講義の確認テスト20%、グループでの協議に取り組む姿勢10%、発表内容・態度・熱意20%を観点毎に記録し、それを総合して評価する。

【教科書】

高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説「総合的な探究の時間編」（学校図書）

または、文部科学省HP（https://www.mext.go.jp/content/1407196_21_1_1_2.pdf）を閲覧できる環境（PC、タブレット等）を準備すること。

【参考書】

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（高等学校・総合的な探究の時間編）
プリント資料を必要に応じて配布する。

【学修の準備】

1. 小中高校時代に経験した総合的な学習（探究）の時間の内容（どんな活動を行ったか等）の要点をノートに整理しておくこと。
2. 『中学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編』、『高等学校学習指導要領解説 総合的な探究の時間編』を事前・事後に読んでおくこと。
予習2時間・復習2時間

【免許法施行規則に定める科目区分等】

「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」の「総合的な学習の時間の指導法」に該当する。

【実務経験】

特別支援学校、高等学校（教諭・教頭・副校長・校長）

【実務経験を活かした教育内容】

特別支援学校、高等学校教員（含む管理職）としての実務経験を活かし、実践的教育を行う。